同窓会ホームページと同一シンボル
東北福祉大学 同窓会 TFU Alumni Association

TFU ALUMNI BULLETIN
東北福祉大学同窓会 会報

第27号

東北福祉大学
学長　萩野　浩基
〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1
電　話㈹ 022-233-3111
F A X　022-233-3113
ホームページ
http://www.tfu.ac.jp

卒業生の市長が笑顔の対談
宮城県角田市・大友喜助氏　茨城県高萩市・草間吉夫氏

ビッグな対談が実現した。十月十九日、本学の音楽堂で開催された「防災士誕生十年市民防災の集い」全国大会に本学を卒業した現職市長の二人が出席。平成十八年三月に茨城県高萩市の市長に初当選した草間吉夫氏（47）＝昭63社福卒＝と、同二十年七月に宮城県角田市長選で初当選した大友喜助氏（63）＝昭49社教卒＝の二人で、現在ともに二期目。

対談に至った経緯は、全国市長会議で、かねてから草間市長との対面を望んでいた大友市長の意向を知った草間市長が、電話連絡をしたことがきっかけ。

電話の中で草間市長が、市民の防災意識向上のため高萩市が七月、本学防災研修室が推進する防災士養成講座に職員五十人を送り込むなどの話をしたところ、大友市長が共感し、全国大会が開催されるこの日の訪問を約した。

和やかに談笑する大友市長（右）と草間市長

同窓のよしみからか、会った瞬間から旧知のように話が弾んだ。母校を二十年ぶりに訪れた大友市長が「震災以来、市民の間には防災は自分たちの力でやるんだ、という意識が高まっている」と話せば、草間市長は「福祉大つながりで一緒にやりましょう」とエールを送った。

また、生涯現役を掲げる高萩市の姿勢を聞かされた大友市長は「自分でよって立つところは防災士と一緒だ」とうなずいた。

わずか一時間の対談にもかかわらず話はトントン拍子に進んだ。同じ市長という立場に加え、大学の先輩、後輩という間柄が親近感を高めた様子。

母校の大学を媒介に市民のための市政向上につながればこれ以上の喜びはない。

なお、草間市長は十二月二十七日、高萩市役所内で一月二十六日に告示される市長選に立候補しない意向を表明。出れば三選が確実視されながらも「やるべきことはやり切った」と爽やかに言い切った。今後の動向が注目されている。

両市の紹介

宮城県角田市　仙台市から南に40キロ。面積は147・58平方㎞。人口は31、066人（平成25年12月31日）。

5つの「め」（米、豆、梅、夢、姫）でまちおこし。H－Ⅱロケットの実物大模型があるスペースタワーとコスモハウス（宇宙展示館）が宇宙への夢を膨らませる。

茨城県高萩市　東京から150キロ、水戸市の北45キロに位置。面積は193・65平方㎞。人口は29、781人（平成26年1月1日）。

全長6・4㎞の海岸線は我が国有数の白砂清松として有名。テレビドラマの中でも再三登場している。

ソチ五輪出場の卒業生・鈴木明子さん　2月19、20日に注目

本学の卒業生・鈴木明子さん（平18社福卒）が冬季五輪の二大会連続出場を決めた。フィギュアスケートのソチ冬季五輪代表選考会を兼ねた全日本選手権最終日が十二月二十三日、さいたまスーパーアリーナで行われ、鈴木さんが浅田真央、村上佳菜子さん（ともに中京大）を抑え、見事、初優勝を飾った。

全日本のフリーで華麗なステップを披露

ショートプログラム70・19で首位の浅田に次ぐ二位で迎えた最終日、フリーでただ一人の140点台をマークし、逆転優勝。全日本出場13度目にしての初制覇で、カナダ・バンクーバーに続き、冬季五輪連続出場の代表切符を手にした。「今まで支えてくれた人の顔が浮かび、うれしさがこみ上げた」と笑顔が弾けた。

前回のバンクーバーは緊張しながらも八位入賞。あれから四年。もがき苦しみながらも着実に進歩を重ねた成果が全日本の滑りに凝縮された。今度は堂々たる日本のトップとしての出場になり、日本中から熱い視線が注がれる。

在学時から鈴木さんをよく知るフィギュアスケート部の柴田幸男部長は「明子ちゃんはとにかく頑張り屋。ソチでは競技人生の集大成を見せてくれるはず」と期待大。

なお、ソチと日本の時差は五時間。開会式は二月七日深夜に行われ、鈴木さんが出場するフィギュア女子ショートプログラムは同十九日、フリーは二十日のいずれも深夜（日本時間）になる。

眠い目をこすりながらも、皆さんで応援しましょう。

全日本選手権初優勝のカップを抱える鈴木さん
（写真はいずれもスポーツニッポン新聞社提供）

チャリティカレンダー販売
ストリートチルドレン芸術祭

本学の学生が取り組む「ストリートチルドレン芸術祭」は2005年、ストリートチルドレンに特化した芸術祭として始まり、子どもたちの絵が掲載されたチャリティカレンダーの販売収益金を海外の子どもたちと被災地に届けている。

2014年カレンダーのテーマは「夢」。掲載された絵は、復興に向けて頑張っている方々や支援している方々に選考していただいた。カレンダーは今年で9年目になる。

世界で夢に向かって一生懸命に生きる子どもたちと、東日本大震災で復興に向けて前を向いて頑張っている被災地の方々のためにチャリティカレンダーにぜひご協力をよろしくお願いいたします！

問い合わせ先＝ストリートチルドレン芸術祭東北支部
〒981－8522　宮城県仙台市青葉区国見1ノ8ノ1
東北福祉大学　生田目研究室内↘

被災地の子どもたちに遊具を贈ろう！「むすび丸ピンバッジ募金」

こんにちは。平成8年度社会教育学科卒業の八木明彦です。私は、宮城県共同募金会に勤務し、ほんの少しですが復興支援に携わっています。震災から3年。被災地では思いっきり遊べる場所を失い、ストレスを抱える子どもたちの増加が深刻です。

そこで今、子どもたちの「笑い声」を取り戻そうと、遊び場（遊具）整備のため「むすび丸ピンバッジ募金」を呼びかけています。同窓生の皆さんの応援参加をよろしくお願い申し上げます。

◇応援価格：500円
◇期間：平成26年3月31日まで
◇申込み方法：電話またはHPより申込書をダウンロードし、メールかFAXでお申し込みください。
◇問い合わせ先：（社）宮城県共同募金会
Tel：022（292）5001
Fax：022（292）5002
Mail：post@akaihane-miyagi.or.jp
URL：http://www.akaihane-miyagi.or.jp

むすび丸
ピンバッジ

通信教育部からのお知らせ

保育士資格所持者へ朗報

認定こども園法改正に伴い、保育士資格または幼稚園教諭免許状の一方しか所持しておらず三年以上4、320時間以上の実務経験を有する方は、所持していないほうの資格・免許状が通信教育部で特例科目8単位の修得で取得可能になります（詳細HP参照）。希望者は通信教育部まで。

◇札幌地区で通信教育部学生のための社会福祉士実習の巡回指導をお願いできるOBの方を探しています。社会福祉士として実務五年以上有する方などが対象になります。詳細は通信教育部実習係までお問い合わせください。

◇昨年九月の卒業者ホームカミングデーは再会・懇親の場、現場で抱えている問題を語り合う場となり、大変好評でした。本学で学ばれたことを仕事や生活に活かされているご様子に、教職員一同気持ちを新たにさせていただく機会にもなりました。数年後にまた機会を設けたいと考えております。

↘Email：charity@tfu-mail.tfu.ac.jp
URL：http://children-smile.com/

世界はつながっている
行学一如

ジッとしていられなかった。11月8日、フィリピンのレイテ島に大型台風30号が上陸。最大瞬間風速は105メートルに達し、死者は6千人を超える大災害に見舞われた。本学では東日本大震災時に世界中から受けた恩返しとして11月21、22の両日昼、学生食堂がある福聚殿前で文化会のボーダレスソサエティやボランティアサークルの学生、教職員が募金活動に着手した。▼また、12月7、8日には仙台市内で街頭募金活動を行った。この時、駆けつけたのが3月、十日間にわたりフィリピンを訪問した宮城県内の三大学（本学、東北学院大、東北大）の中の本学学生だった。訪問は東日本大震災の支援に感謝する「キズナ強化プロジェクト」の一環で、参加した五人のうち三人が、お世話になったフィリピンのために「何かしよう」と話し合っていた。▼師走の寒風が吹く中、学生は道行く人に「義援金にご協力を！」と声をからして呼びかけた。老若男女が立ち止まっては善意を差し入れた。中には自転車を離れた場所に止め、お金を入れに来た外国人もいた。受け止めた学生は「世界はつながっている」を実感し、胸が熱くなったという。▼思い出すのは首都マニラ市のパタヤス地区で目にしたゴミの山。住民の中にはゴミを換金して生活する人がいた。そんな貧しい地区からでも東日本大震災では、日本人ボランティアに教わったクマを作って送り、大震災の報告をした時には涙を流し自分のことのように聞いてくれた。同国を訪問し、東北と遠く離れたパタヤスがつながっていることを知った学生には、今回の大災害がとても人ごとではなかったのだ。

（国見　太郎）

頑張ってます 今も昔も

平成10年（1998年）当時

学術フロンティアの拠点に指定され「感性福祉」研究が本格スタート

東北福祉大学は一八七五年（明治八年）に曹洞宗専門学支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年（昭和三十三年）に短期大学になり、六二年（同三十七年）に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え、卒業生の数は約四万三千人（通信を含む）を超えている。さて、大学の時々を振り返るシリーズの27回目は、本学卒業生の鈴木明子さんがソチに出場するなど話題の多い五輪にちなみ、長野冬季五輪が開催された一九九八年（平成十年）を取り上げる。大学では「感性福祉」研究が本格的にスタートした年でもある。

研究所も秋着工

眠っている感性を目覚めさせ、新しい福祉学への道を探る本学の思いが、文部省（現文部科学省）を動かした。この春、本学が学術フロンティア推進事業の拠点大学に指定され、感性福祉の研究に拍車がかかった。

指定を受ける前の二月、音楽堂けやきホールで21世紀フォーラム「感性と福祉」を開催。基調講演に河合隼雄氏や日野原重明氏ら著名な講師を招き、聴衆の内面に迫った。感性福祉研究会を立ち上げて、第一回例会を五月に再び河合氏を呼んで開催。第二回は九月、第三回を十月に開くなど、学生を対象に研究スタッフを交えた講演や研究報告を立て続けに行った。

精力的な活動は本学が本気になって研究に取り組む姿勢の表れであった。秋から着工された感性福祉研究所が翌年六月に完成し、名実ともに日本の感性福祉をリードする態勢が整った。

こうした流れは九九年、せんだんの杜に保育園を設置、二〇〇〇年医療法人の介護老人保健施設せんだんの丘、〇一年認知症介護研究・研修仙台センターの開設につながった。

学生の動きも活発だった。九月に栃木県那須町と福島県西郷村一帯を襲った集中豪雨に、宮城県災害救援ボランティアセンターからの呼びかけに応じて、硬式野球部と柔道部員十二人が駆け付け、流木の撤去作業や全壊した農家の後片付けに当たった。九五年の阪神大震災以来から続く現地滞在型のボランティア活動を展開した。

99年6月完成の感性福祉研究所

体育会各部の活躍も光った。十二月に開かれた合同祝勝会では常勝・日大を破り、団体戦で初の日本一を勝ち取ったゴルフ部男子、十一月の全日本学生弓道女子王座決定戦で初優勝を果たした弓道部、明治神宮大会準優勝の硬式野球部など、好成績を残した部が紹介され、大いに盛り上がった。

卒業生も華々しかった。プロ野球で横浜ベイスターズを三十八年ぶりの日本一に導いた大魔神こと佐々木主浩投手（昭63社福卒）だ。フォークを武器に打者をキリキリ舞いさせ、正力賞やプロスポーツ大賞、宮城県民栄誉賞などの賞を総なめした。

合同祝勝会であいさつする大竹先生

秋の国見祭も盛況だった。木村ゼミ、松江ゼミの研究発表からけやきホールでの「ネプチューン」ライブなど参加者を楽しませた。

20世紀最後の長野冬季五輪はこの年の二月に開催された。今年、ソチで開催される冬季五輪ではフィギュアスケート女子の鈴木明子さんにメダルの期待がかかる。本学で培った感性を遺憾なく発揮してくれるに違いない。

新人史上初の賞金王 4年生 松山英樹君

本学四年生でプロゴルファーの松山英樹君が十二月二十七日、学長室を訪れ、二〇一三年の活動を報告した。四月にプロ宣言し、いきなりツアーで4勝を挙げ、新人で史上初の賞金王に輝いた。

萩野浩基学長から「よく頑張ったね。体は大丈夫か?」とねぎらいのことばを贈られた。マスターズトーナメント委員会からこの日届いたばかりの2014マスターズ（4月10日開幕、米ジョージア州オーガスタ）招待状を手に「ハイ!」と元気よく答えた。

同席した渡辺信英学長補佐、ゴルフ部部長でもある大竹榮総務局長、阿部靖彦ゴルフ部監督と昨年を振り返り、さらなる成長を誓った。

なお、昨年九月二十八日に東日本大震災からの復興を支援する基金を設立。以後、出場した試合で1バーディーにつき1万円、1イーグル2万円を積み立てる計画を発表。十二月末に計89万円を被災した子どもたちのためにケアハウスを設立する「あしなが育英会東北事務所」に寄贈した。

学長室を訪れた松山君（右下）

楽天の斎藤隆投手が凱旋報告に

メジャーから八年ぶりに日本球界に復帰し今季、プロ野球楽天の日本一に貢献した斎藤隆投手（平3社福卒）が十二月二日、本学へ凱旋報告に訪れた。

斎藤投手（左）と学長

学長室で萩野浩基学長から「プレーオフではいい球を投げていたね。継続は力だ。ケガに気をつけ、少しでも長く現役を続けられたらいいね」と励ましの言葉を贈られた。記念に萩野学長の著書を贈られた斎藤投手は「うれしいです」と笑顔で話した。

前日には楽天選手の一員として宮城・南三陸町のさんさん商店街を訪問。約一千人のファンを前に日本一を報告。復興支援にも大活躍だ。

宮里選手がツアー初勝利

待望の初優勝。プロゴルファー宮里優作選手（平14社福卒）が十二月八日、男子ツアーの日本シリーズJTカップ（東京よみうりCC、パー70）最終日、通算13アンダーの267で2位に3打差をつけ、ツアー初勝利を飾った。

在学中に日本学生3連覇、三年次に日本アマに輝くなど大活躍。プロでもすぐに優勝すると目されていたが、現実は厳しくこの日までに十一年を要した。それだけに「まずは二勝目が大事」と浮かれることなく、しっかりと足元を見据えている。

選手会長池田選手はマイナビで

プロゴルファー池田勇太選手（平19社福卒）が十一月四日、男子ツアーのマイナビABCチャンピオンシップ（兵庫ABC・GC、パー71）最終日にS・K・ホ選手（韓国）をプレーオフの末、下し、今季初勝利を飾った。通算11勝目。今季から選手会長に就任。景気低迷の中、スポンサー離れを防ぐため、企業各社を訪問するなど多忙を極めた。練習もままならず「今季は勝てないのでは」と不安を押し殺してプレーが続いた。それだけに待望の初勝利に「ホッとした」は偽らざる気持ちだった。

VISA太平洋は谷原選手

プロゴルファー谷原秀人選手（平13社福卒）が十一月十七日、男子ツアーの三井住友VISA太平洋マスターズ（静岡県太平洋クラブ御殿場、パー72）最終日、通算13アンダーの275で2位に1打差をつけ、今季初勝利を飾った。通算10勝目。

9勝目を挙げてから三年三カ月ぶりの勝利とあって、喜びもひとしお。「これからも勝ちたい」と自信をよみがえらせた。

トーシンTは藤本選手

プロゴルファー藤本佳則選手（平23情福マ卒）が十月十三日、男子ツアーのトーシン・トーナメント最終日に通算24アンダーで今季初勝利を飾った。通算2勝目。

楽天7位相原投手

プロ野球のドラフト会議が十月二十四日、東京都内のホテルで開催され、本学OBで七十七銀行の相原和友投手（平23情福マ卒）が東北楽天ゴールデンイーグルスから7位指名された。

地元宮城県出身で1メートル86の長身左腕。切れのあるスライダーと速球が持ち味で「地域の人の勇気が湧くようなプレーをしたい」と意気込みを話した。

なお、本学からのプロ野球選手は相原投手で四十四人目になる。

実業団駅伝ホクレン鈴木主将

全日本実業団対抗女子駅伝が十二月十五日、宮城県松島町で開かれ、卒業生・鈴木澄子さん（平19社教卒）が主将を務めるホクレンは前年の24位から11位に進出。三度目の出場で初のアンカーを任された鈴木さんは「地元の声援が背中を押してくれた」と感謝した。

体育会各部の成績

陸上競技部
第31回杜の都全日本大学女子駅伝（10月27日　仙台市陸上競技場～仙台市役所前市民広場＝38・0キロ）
▽本学　2時間13分54秒　20位

テニス部
第68回天皇賜杯全日本選手権（10月25～28日　茨城県神栖市）
▽男子　二回戦敗退

剣道部
第32回全日本女子学生優勝大会（11月10日　春日井市総合体育館）
▽本学　二回戦敗退

空手道部
第57回全日本選手権大会（11月17日　東大阪アリーナ）
▽男女とも団体組手　二回戦敗退

女子ソフトボール部
第48回全日本大学選手権大会（9月6～9日　大阪市舞洲アリーナ）
▽二回戦
東北福祉大　3－4　東海学園大

軟式野球部
第36回全日本大学選手権大会（8月14日　長野五輪スタジアム）
▽決勝
東北福祉大　4－0　神奈川大
（本学は20年ぶり2度目の優勝）

バレーボール部
全日本大学男子選手権（12月2～8日　墨田区総合体育館）
▽本学　決勝T一回戦敗退
全日本大学女子選手権（12月2～4日　大阪市立港スポーツセンター）
▽本学　二回戦敗退

ゴルフ部
日米大学対抗選手権（9月12日　福島・棚倉田舎GC）
▽男子　優勝　▽女子　3位
信夫杯争奪日本大学対抗戦（11月1日　千葉CC梅郷）
▽男子　2位　▽女子　優勝

平成26年度 今後の入試情報

B日程試験［学部分割］　●出願期間／平成26年1月31日（金）～平成26年2月12日（水）［必着］

学部	学科・専攻	試験日	試験会場	合格発表日	手続期限日
総合福祉学部	福祉心理学科	平成26年2月20日（木）	仙台（本学：国見キャンパス）青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成26年3月3日（月）	平成26年3月10日（月）
健康科学部	医療経営管理学科				
総合福祉学部	社会教育学科				
総合マネジメント学部	情報福祉マネジメント学科	平成26年2月21日（金）			
健康科学部	リハビリテーション学科（理学療法学専攻）				
総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科	平成26年2月22日（土）			
子ども科学部	子ども教育学科				
総合福祉学部	社会福祉学科	平成26年2月23日（日）			
健康科学部	保健看護学科				
	リハビリテーション学科（作業療法学専攻）				

C日程試験［学部統一］　●出願期間／平成26年2月17日（月）～平成26年3月7日（金）［必着］

学部	学科・専攻	試験日	試験会場	合格発表日	手続期限日
全学部	全学科	平成26年3月13日（木）	仙台（本学：国見キャンパス）	平成26年3月17日（月）	平成26年3月24日（月）

大学院今後の入学試験日程

修士課程	出願期間	選考日	合格発表日
通学制・一般III期 社会福祉学専攻だけ実施	2月10日（月）～3月3日（月）	3月8日（土）	3月18日（火）
社会人II期			
通信制・II期	1月20日（月）～2月19日（水）	3月1日（土）	3月11日（火）

■総合福祉学部・総合マネジメント学部・子ども科学部・健康科学部
入試センター　TEL 022－717－3312　FAX 022－717－3332
■大学院　総合福祉学研究科（博士・修士課程）
問い合わせ　TEL 022－727－2288　FAX 022－728－6420
■通信制大学院　総合福祉学研究科（修士課程）
問い合わせ　TEL 022－233－2211　FAX 022－233－2212

東北福祉大学ホームページ http://www.tfu.ac.jp

同窓会便り①

催しの報告

欅の会同窓会

四本木宣昭氏（昭47社福卒）

「欅の会」（昭47年度卒）第三回同級会を十月十九日～二十一日の三日間で開催した。

十九日は一ノ関駅に二十人が集合し、バスで世界遺産の平泉へ観光した。二十日は両側にそそり立つ岩壁の猊鼻渓へ。船頭さんが歌う民謡を聞き、東北の情緒に触れた。昼食はわんこソバで「ホイホイ」の掛け声につい食べ過ぎてしまった。その後、八幡平へ。二十一日はあいにくの小雨と霧だったが、小岩井農場へ行き、農場内をバスで見学。昔の人の苦労した生活がしのばれた。

会を重ねるたび、学生時代には味わえなかった心の触れ合い、そして、全員が一体となり、楽しい一時を過ごすことができた。今回の監事は小林一さんを中心に齋藤キワさん、香川美津子さんが務めた。

次回は、二年後福島県で開催される予定。多数ご参加くださるよう願っている。

同窓会に一度も参加されていない方で、連絡先が分からない方は、「欅の会」事務局＝〒919－1525　福井県三方上中郡若狭町瓜生三〇－十二－三十八、四本木宣昭までご連絡ください。

欅の会同窓会

心身障害者福祉研究部

石川克己氏（昭44社福卒）

八月三十一日秋田市内の秋田キャッスルホテルで、心身障害者福祉研究部同窓会が開催された。地元の小林美津子さん（旧姓：安倍、昭43社福卒）、佐藤美智子さん（旧姓：小松原、昭44社福卒）、菊谷紀子さん（旧姓：井上、同卒）、柴田暹さん（同卒）が呼びかけ、22名が参加した。

受付後、地元で茶道教授をしている小林さんからお茶が出された。合宿やコンパで歌った曲のBGMが流れ心憎いばかりの演出で、おもてなしの心があふれていた。

仙台で東北地方に伝わる民話の語り部として活躍している菅井清子さん（旧姓：齋藤・昭43社福卒）、同じ仙台から阿部悠紀子さん（旧姓：若生、同卒）、浜松から益田啓子さん（旧姓：片寄・昭45社福卒）も参加した。

阿部さんの動態模写「統計学とは……」で始まる授業風景は、教授の歩き方や口調までそっくりで、当時の教室を思い出し大笑いした。入学試験に面接があったことや四十数年前の出来事をこと細かく知っていて、その記憶力にみながら驚かされた。益田さんは三月に卒業し、四月に挙式と慌ただしかった当時を振り返り、部活と婚活の最初の実践者であったことが判明。次回は、山形での再会を約束し、深夜まで語り合いが続いた。

心身障害者福祉研究部

杜西寮・喜心寮入寮者の集い

高橋佳子氏（昭45社福卒）

十月十一日、学生食堂「レストラン風土」を会場に女子寮＝杜西寮と男子寮＝喜心寮の合同で、入寮者の集いを卒業以来四十二年ぶりに企画・開催した。杜西寮生十六名、喜心寮生十七名が参加。開会式で萩野学長から来賓挨拶を頂いた。私達の学生時代とははるかに変わったキャンパス紹介のビデオをみて思わずため息が漏れた。

入寮当時、三クラスで一五〇名ほどいたが、仲間たちの顔が浮かんだ。自己紹介の後に男女別の寮に分かれ、寮の行事や当初の部屋割、先輩、後輩たちまで話題が広がった。最後は当時流行っていたフォークソングを四曲、みんなで合唱した。

杜西寮・喜心寮　入寮者の集い

福祉心理学科岩手県同窓生の集い

十一月九日、東北福祉大学心理学科同窓「心友会」が岩手県雫石町つなぎ温泉「ホテル紫苑」で開催された。

東北六県から同窓生二十七名が参加。遠藤勇一氏（昭56心理卒）の司会の下、楽しい思い出話や参加者の自己紹介が行われ、さながら卒業後の自分史を語る会のようで和やかに進行した。芹沢銈介美術工芸館の絵はがきを組み合わせプレゼントし喜ばれた。

毎年秋開催を定例化することで参加予定も取りやすくなると思う。本年は、十月末から十一月上旬にかけて、東北福祉大学を会場に、現役生との交流と関連施設を盛り込んだ一次会を開催し、二次会は近くの温泉に場所を移して開催するという案が西舘政彦氏岩手県心友会支部長（昭49心理卒）より提案され了承された。

福祉心理学科同窓心友会の活動が、在校生のインターンなど就職活動に結び付くよう応援していきたいとの言葉を参加者から頂き、卒業生の成長に心強く、また心温まる思いがした。

福祉心理学科岩手県同窓会

開催予告

《共に学生生活を送った下宿同窓会を企画》

高橋潔氏（昭54社教卒）

国見二丁目に「光洋荘」という大きな下宿屋があった。卒業してから三十数年が過ぎ、その頃がとても懐かしく蘇ってくる。数年前からいろんな人からの問い合わせも多く、「いつか開催できればいいなぁ」と思っていて、ついに重い腰を上げ、挑戦することにした。

昭和五十年前後（昭和四十八年～五十五年頃までを対象）に入居されて、学生生活を送った方を探している。

心当たりのある方は、是非ご一報を。また、一緒に運営に関わってくれる方は大歓迎。

【連絡先】
〒991－0011
山形県寒河江市大字日田402
髙　橋　潔
Eメール
cherry2006@aria.ocn.ne.jp

母校訪問

福島県会津地区同窓会

事務局長目黒正一氏（昭59社福卒）

六月の地区同窓会設立後の最初の事業として十月五日～六日、母校と特別養護老人ホームせんだんの館、仙台フィンランド健康福祉センター研究開発館の視察見学を行った。

母校見学では菅本昭夫総務部参与兼同窓会長に国見キャンパス内の管理棟、芹沢銈介美術工芸館、図書館や学食を案内していただき、参加者が学んだそれぞれの時代のキャンパスを思い出しながら感慨に浸った。

せんだんの館では、施設内のカフェでフィンランドランチを堪能した後、フィンランドの福祉機器やIT機器が導入された施設を見学した。また、健康福祉センター研究開発館では事業概要の説明を受け、展示されていた福祉機器を前に参加した医療・福祉関係の同窓生も興味津々だった。

なお、東日本大震災の発災で相馬・双葉地区の老人ホームの関係者が体験したことをまとめた書籍『避難弱者』（東洋経済新報社）5冊を母校の図書館他に謹呈した。在校生の副教材として活用していただけたら幸いだ。この書籍の印税の一部は福島県復興のために活用されている。

是非、全国の同窓生の皆様にもご一読いただきたいと思う。

菅本同窓会長の挨拶

福島県会津地区同窓会

卒業生が後輩にアドバイス

平成二十五年度OB・OGセミナー（企業・公務員編）が十一月十六日、本学六号館で開催された。卒業年度が平成十二年から同二十二年までのOB・OG十二人が駆け付け、将来の就職先として企業や公務員を希望する約二百二十人の学生に説明した。

OB・OGの業種は金融からIT・通信までの十一。四つの教室に分かれ、一回三十分のフリートークを三回実施した。現在の職業を選んだ理由や仕事の内容、待遇、学生時代の過ごし方など丁寧な説明が行われた。

学生から「福祉大から企業を選ぶ理由を聞かれたら、何と答えたらいいか？」の質問には「実習とかで体験した人と人とのかかわりを生かしたいなど、思うところを話したらいい」とにこやかに応じた。

平成十二年度卒で、サービス業の業務管理本部サブマネジャーを務める嶋田葵さんは、後輩の印象を「気持ちに火がつき始めた人と、そうでない人の二通りを感じた。火がつき始めた人はいろいろと質問をするが、そうでない人には何かしら感じてくれたらと思う」と思いやった。後輩を思う卒業生の親身な姿勢があちらこちらのブースから伝わった。

なお、同セミナーの福祉・医療編は十二月十四日に開催され、卒業年度が平成十一年から同十八年までの卒業生十一人が参加した。

後輩のために駆けつけた卒業生

ギャラリートーク

人間国宝・芹沢銈介の作品を展示する芹沢銈介美術工芸館にはさまざまな楽しみ方がある。9月26日から始まった特別展「花もたじろぐ染の花～芹沢銈介の型絵染」は芹沢銈介作品と型紙、下絵、試作染など約160点が展示され、最終日の12月21日には、約40人の見学者が当館学芸員によるギャラリートークに魅了された。

特別展の期間中は月一ペースでギャラリートークを開催。この日は奈良綾学芸員が説明役を務めた。展示室は6階に3室、5階に2室が設置され、主な作品の前で足を止めては説明。「知恩院大殿内陣荘厳布飾布」（試作・型紙1974年）を「知恩院に行けば幸せになれると言われたことを芹沢がイメージして創った」と話し、ほのぼのとした雰囲気を醸し出した。

学芸員の説明を聞く参加者

作品を一つ一つ回ると優に2時間はかかってしまうが、予定された時間は1時間。見学者は歩きながら口々に「素晴らしいわね」を連発。60代の女性は「説明するスピードといい話が分かりやすい。聞くと（鑑賞も）またひと味違う」と満足げにうなずいた。

ギャラリートーク以外でもデモンストレーション「型染の技を拝見！」や講習会「はじめての型染」を土手武彦・千鶴子ご夫妻が担当し、相変わらずの人気を博した。

また、土曜日開催のワークショップ「かんたん！　型染体験・コースター作り」もにぎわった。作品の魅力に加え、こうした催しも見学者にはうれしい。訪れるたびに新たな発見があるのも当館の特色になっている。

東北福祉大学　芹沢銈介美術工芸館　展示予定

年	2014 年	2014 ～ 2015 年	2015 年
月	4 月 7 日（月）～ 7 月 26 日（土）	9 月 29 日（月）～ 12 月 20 日（土）、1 月 8 日（木）～ 1 月 28 日（水）	3 月 17 日（火）～ 6 月 17 日（水）
展示内容	〈特別展〉開館 25 周年記念 「芹沢銈介コレクション　アンデスの染織」 〈併設展〉「芹沢銈介の作品」	〈特別展〉開館 25 周年記念 「宮城のやきもの　堤焼・切込焼」 〈併設展〉「芹沢銈介の作品」	〈特別展〉「生誕 120 年記念 デザイナー芹沢銈介展」

開館時間　10：00 ～ 16：30（入館は 16：00 まで）
休 館 日　日祝日、展示替え期間、入試期間（要問い合わせ）
入 館 料　一般 300 円、学生 200 円（高校生以下、本学学生・教職員は無料）

〒 981-8522　仙台市青葉区国見 1 丁目 8 番 1 号
東北福祉大学 2 号館内　TEL　022-717-3318
FAX　022-717-3324

同窓会便り②

総会の報告

新潟県同窓会

事務局三林けい子氏（昭59社福卒）

九月七日（土）新潟日報メディアシップで講演会・総会及び懇親会を開催した。「カンボジアフリースクールの活動報告」と題し、フリースクール愛センター代表の渡辺藍さんが現状を講演。内容を聞いて今まで思っていたカンボジアのイメージが変わったという参加者もあった。

次に「国際貢献活動の課題と実践」と題して、大学から生田目学文准教授がストリートチルドレン芸術祭（1面参照）へのかかわりを中心に講演。我々も国際貢献活動にかかわる際は、無理せずできるところから始める、顔の見える支援を行う、やりがいを感じることが大切であると話された。

懇親会では講師も含め、通信課程の卒業生や県外から同窓生の飛び入り参加者もあり楽しい交流会となった。

新潟県同窓会

釧根地区同窓会

事務局中村孝之氏（昭55産福卒）

平成二十五年十月二十六日（日）に東北福祉大学北海道釧根地区同窓会設立十周年記念に併せて公開講座を行い、本学より総合福祉学部福祉心理学科教授の小松紘先生をお招きして「高齢者の心理について」と題してご講演を頂いた。会場となった釧路プリンスホテルには、同窓生及び介護施設や医療関係者一二〇名が集まり小松先生の講演に耳を傾けた。

終了後別室で、同窓会が行われ、北海道釧根地区同窓会会長井川哲雄氏より無事に十周年を迎えられたことへの感謝と御礼の挨拶があり、小松紘先生と札幌地区同窓会副会長浜田悟氏からもご挨拶を頂き、空知地区同窓会幹事長稲村秀樹氏の乾杯で祝宴に入った。本学の鈴木智彦教務部副部長より学校の現状報告があり、同窓生も本学の発展と学生の活躍にボルテージは上がる一方で自然とお酒の量と会話が増した。締めは旭川地区同窓会の日向透氏の三本締めで終宴。北海道という広い環境の中、多くの地区同窓会の関係者がお祝いに駆け付けてくれ釧根地区同窓会一同が感激している。

釧根地区同窓会

山形県同窓会

事務局高橋潔氏（昭54社教卒）

十一月九日（土）、山形市山交ビル七階「ヤマコーホール」を会場に、第十一回同窓会を開催した。参加者は、昨年よりも増え三十四名に上った。六割は昭和時代の卒業生で、平成以降卒業の同窓生が全体の三割を超え、在学中の四年生の参加もあり、年々若返ってきている。

今回は、菅本昭夫東北福祉大学同窓会長を来賓に迎え、また記念講演では村山くみ講師から「団塊世代の生活行動にみる地域社会づくりの考察」と題して、定年を迎える人たちの社会参加とそれらを上手に活用する側の対応について、話していただいた。

その後、総会に入り、引き続いての交流懇親会では、学生時代に戻って意気投合し楽しく語らいながら、来年の出会いを互いに約束した。

山形県同窓会

富山県同窓会

事務局長羽田哲朗氏（昭48社福卒）

富山県同窓会第九回総会が九月十四日（土）富山市のホテルグランテラス富山で、小松洋吉教授を来賓として迎え、開かれた。

本田孝夫会長（昭和42社福卒）の挨拶と小松教授の祝辞の後、決算報告・事業報告並びに予算・事業計画等が審議され、役員改選では同窓会事務局原案通り全役員の留任が承認された。

記念講演は、小松教授が「一笑健幸～ふ・ふ・ふ～」と題しユーモアを交えて行われた。

その後の懇親会では、来年が設立十年の節目にあたり、今から計画し準備を進めることを語りあうなど、打ち解けた雰囲気の中、和やかに充実した時間をすごした。

富山県同窓会

栃木県同窓会

事務局長猪野弘行氏（昭51社福卒）

栃木県同窓会二〇一三年度総会が十二月八日（日）、宇都宮市コンセーレで学生生活支援センター長兼法務室長の福富哲也教授を来賓としてお迎えし、会員十四名が出席のもと開催された。初めに池谷友夫会長（昭49社福卒）が「今後も母校の発展と本県同窓会に寄与できるよう皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶を述べた。

福富先生から、大学の近況報告や本県さくら市とボランティア活動に関する相互支援協定を締結したことなど貴重なご報告をいただいた。

協議では、二〇一三年度事業報告、決算報告、二〇一四年度事業計画、予算が承認された。終了後、懇親会が行われ福富先生を囲み和やかな雰囲気のうち終了となった。

栃木県同窓会

開催予告

《平成二十六年度》

青森県同窓会

「第十五回総会・親睦会」

日にち：七月五日（土）

時間：十五時～

場所：ホテル青森（青森市）

「国見会 退職者を励ます会」

日にち：五月十八日（土）

時間：十九時～

場所：青森市「おいらせ」

連絡先：石田・井上（浅虫温泉病院内）

017-752-3004

人物登場

世界で数々の賞を受賞　福智泰生氏（北海道帯広市）

福智泰生氏

北海道帯広市在住の福智泰生氏から嬉しい便りが同窓会事務局に寄せられた。以下に抜粋を紹介。福祉大といえば野球が強く、後輩たちがプロに入り活躍している様を見るにつけ応援している。最近はゴルフも強くなり、ニューフェイスとして松山君が頑張っており、OBとしてとても嬉しい。もちろん、スポーツ、芸術だけではなく、福祉の現場や、その他でも多くの人たちが活躍している。

一方、僕は福智一正として、今年芸術活動三十周年を迎えた。簡略にいえば、画家を志し、間もなく怪我により苦労をしたが、何とか国内外で正式に高い評価を受けるようになった。福智一正の業績などを紹介。

スペイン国立プラド美術館財団芸術家会員をはじめ、IAC国際芸術協会会員など計五つに所属。フランス美術協会公式ボザール・ライセンス（二〇一〇年）を取得し、AMSCスペイン芸術顕彰賞、第十五回エイズ・チャリティー美術展東京国際グランプリなど数多くの賞を受賞し、日・仏・伊・米・墺・端・西の美術集に掲載されるなど、現在国内外から二〇〇件を超えるオファーが来ている。今回掲載している作品は「パリを魅了した日本アーティスト選」の一人として、「グランプリ・ド・トリコロール」に選ばれ、フランス美術協会より「ボザール・ライセンス」を授与された時の作品。これまでの国内外での活動が認められ、「僕の感動と喜びが、皆さんの感動と喜びの役に立てればうれしい」が率直な気持ちだ。

なお、芸術活動にはお金がかかり、大学関係、並びにOB、OGの皆さんのスポンサー、作品購入、他のデザイン、モニュメント、音楽などの仕事を頂ければ嬉しい。福智氏は母校や、母校以外の皆さんに感謝しますと付け加えることを忘れない。

詳しい芸歴は「福智一正」HP http://fukuchikazumasa.g-cosimo.com/?mode=profile

2004年作「初夏の光の優美」

すばらしい仲間は誇り　高橋重幸氏（北海道旭川市）

私は、大学卒業後実家に戻り、旭川市内の障害者の施設で勤務している。ケアマネの資格を取り、現在は高齢者のグループホームで管理者を任されている。業務は当然、業務以外の活動もしている。地域のケアマネ有志の勉強会から発展した介護劇を開催。札幌発のイベント「認知症の人をささえる」RUN伴2013に参加した。今年は、旭川から大阪までたすきを繋ぐという試みで、職場がスタート地点になり、札幌まで伴走した。また、近年は、大学の先生（認知症介護研究・研修仙台センターのセンター長）加藤伸司教授をお招きした講演会も開催した。

個人的には、大学時代のサークルの仲間と今年約三十三年ぶりの同窓会を開催。所属していたのは、現在もある松島カウンセラーズというサークルだった。卒業後、お互いの結婚式等で会ったメンバーもいたが、全員ではない。今回、昨年より連絡を取り合い、学生時代の思い出の地、松島に一泊二日で集合した。大学にも立ち寄り、現役の後輩に案内してもらい、学食で昼食を食べた。奈良から北海道まで同期十人（男五女五）が、

あれから30年、今思うと……　高橋勝久氏（栃木県）

高橋勝久氏

初めて、仙台の地に足を踏み入れてから、三十年が経った。想い起してみると、仙台の変遷とともに、学生生活があったように思う。最初に仙台に赴いた時にはまだ、新幹線はなく、特急だった。地下鉄工事でバイトをしたのも今では良き思い出だ。学祭実委、サークル活動、ゼミ活動と一日二十四時間のはずが、それ以上あったかのように、様々な体験だった。もちろん、少しは？勉学にも励んだが……。

現在栃木県の社会福祉法人に勤務しているが、仕事においても、学生時代に経験した様々な体験が、役立っていると思っている。でも、世間は広い。学生時代の様々な経験から、自分自身も成長したと思って、業務上学会発表の論文、厚労省の様々な会議の資料、議事録に目を通すと、（インターネットはなかったので、今ほど情報は得られなかったが……）学生時代に、そのような機会ができれば良かったかなと今思うことが多々ある。

ぜひ、在校生・卒業生には、先輩の想いとして、自らが興味のある事をAll Japan・All Worldで追い求めてみてほしい。その時、きっとどこかで東北福祉大学のOBと出会う機会があるだろう。そんな大学の卒業生として、今密かに笑みを浮かべることがある。最後に、東日本大震災により、夢が消えかかった方も多くいたことと思う。しかし、その夢をまた咲かせようと今も多くの在校生がボランティアで活動されていると伺っている。大学の卒業生として何らかの協力ができればと思う今日この頃である。

工房開設から30周年　油井日出男氏（秋田県）

油井日出男氏

秋田・白神山地のふもとの町にステンドグラス工房を開設して今年で三十周年になる。大学を卒業してからあっという間の時間だ。白神山地最南端の小高い山にあり、ゆたかな自然の中でもの造りに励んでいる。憩いの場所を創ろうと始めたのが一九八八年の夏。荒れ地だった山に、仲間たちと草を刈り水道と電気を引き丸太小屋を建てた。普段の生活では感じ得ない全員集合。いろいろと各家庭の都合がある中、全員が集まれたことに感謝した。

このように、卒業しても繋がっていられるすばらしい仲間がいることを誇りに思い、これからもこの地で頑張っていきたいと思う。

ない、ゆったりとした時間と空間を味わいに是非訪れて頂ければと思う。

また、十月末にギャラリー悠玄（銀座六ノ三ノ一七）で個展を開催する。どこかで作品が皆様のお目にとまれば嬉しく思う。

お問い合わせ先はTEL 0183（73）3855

事務局から

ホームページを公開中

同窓会の開催予告、開催報告等の配信をはじめ、氏名・住所変更の手続きができます。

なお、氏名・住所変更の際には会員番号が必要となります。（宛名氏名の右下に掲載）

2013年作「ぶなの秋」

この印刷物はグリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮商品です。
インキは環境にやさしい植物油インキを使用しています。